

# カリキュラムマップ(6年制 薬学科、漢方薬学科) R4年度以降適用

	1年次		2年次		3年次		4年次		5年次		6年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
教養科目 【CP1】	文学Ⅰ 倫理学Ⅰ 法学Ⅰ 英会話Ⅰ 中国語Ⅰ フランス語Ⅰ 情報処理演習Ⅰ 薬学基礎英語Ⅰ 基礎化学Ⅰ 基礎数学Ⅰ 基礎物理学 基礎生物学 文章表現論 コミュニケーション論 薬学への招待 心理学	文学Ⅱ 倫理学Ⅱ 法学Ⅱ 英会話Ⅱ 中国語Ⅱ フランス語Ⅱ 情報処理演習Ⅱ 薬学基礎英語Ⅱ 基礎化学Ⅱ 基礎数学Ⅱ	福祉学Ⅰ 経済学Ⅰ 哲学Ⅰ 基礎統計学 プレゼンテーション論	福祉学Ⅱ 経済学Ⅱ 哲学Ⅱ	薬学英語	臨床薬学英語						
カリキュラムポリシー (CP)	<p>【CP1】 豊かな教養と人間性を醸成する教養教育・倫理教育科目を配置します。</p> <p>【CP2】 薬剤師として必要な知識・技能を醸成するために、薬学基礎、衛生薬学、医療薬学および薬学臨床に関わる専門教育科目を配置します。</p> <p>【CP3】 問題発見能力、問題解決能力、プレゼンテーション能力を醸成し自己研鑽できる専門科目(実習・研究科目)を配置します。</p> <p>【CP4】 薬剤師として、様々な医療現場で活躍できる能力を醸成する専門科目(アドバンスト科目)を配置します。</p> <p>【CP薬学科独自】 臨床医学(医療・健康・介護・ターミナルケア等)に関する発展的な知識・倫理観を養う専門教育科目(本学独自科目)を配置します。</p> <p>【CP漢方薬学科独自】 西洋薬全般の知識を基盤とした上で、漢方調剤の実践能力と漢方処方解析能力を養うために、漢方の基礎から応用に関する知識・技能を醸成する専門教育科目(本学独自科目)を配置します。</p>											
基本事項・薬学と社会【CP2】	医療概論 薬学概論		医療コミュニケーション学 生命・医療倫理学		薬事関係法規・制度		ポスト教育					
薬学基礎(物理分析系)【CP2】	無機化学 理論化学		分析化学Ⅰ 物理化学Ⅰ		分析化学Ⅱ 物理化学Ⅱ 放射化学		分析化学Ⅲ 物理化学Ⅲ		分析化学Ⅳ 構造解析学			
薬学基礎(化学・生薬系)【CP2】	有機化学Ⅰ		有機化学Ⅱ 薬用資源学		有機化学Ⅲ 生薬学		有機化学Ⅳ 天然物化学		有機化学Ⅴ 医薬品化学Ⅰ 医薬品化学Ⅱ			
薬学基礎(生物系)【CP2】	生命科学Ⅰ 機能形態学Ⅰ		生命科学Ⅱ 機能形態学Ⅱ 微生物学Ⅰ		生命科学Ⅲ 微生物学Ⅱ		生命科学Ⅳ 免疫学					
衛生薬学【CP2】			環境衛生学Ⅰ		環境衛生学Ⅱ 食品衛生学Ⅰ		公衆衛生学 食品衛生学Ⅱ					
専門教育 医療薬学【CP2】	薬理学Ⅰ		薬理学Ⅱ		薬理学Ⅲ 病態薬物治療学Ⅰ 医療統計学		薬理学Ⅳ 病態薬物治療学Ⅱ 薬物動態学Ⅰ 物理薬理学 製剤学Ⅰ		感染症治療学 病態薬物治療学Ⅲ 薬物動態学Ⅱ 医薬品情報学 臨床薬物動態学		がん化学療法学 漢方治療論	
薬学臨床【CP2】	早期臨床体験						調剤学 臨床薬学 事前学習		実務実習Ⅰ		実務実習Ⅱ	
本学独自科目【CP4】	海外大学講師特別講義		海外大学講師特別講義		海外大学講師特別講義		海外大学講師特別講義		海外大学講師特別講義		海外大学講師特別講義	
薬学科【CP薬学科独自】	臨床心理学		介護学概論		健康管理学		化粧品学概論		ターミナルケア論		看護概論 医薬品開発論	
漢方薬学科【CP漢方薬学科独自】	漢方・民間薬概論		本草学		漢方薬理学		漢方薬効免疫学		漢方製剤・薬理学		漢方処方学 臨床漢方治療学	
実習・研究科目【CP3】	基礎実習		基礎薬学実習Ⅰ 基礎薬学実習Ⅱ		基礎薬学実習Ⅲ		生命薬学実習Ⅰ 生命薬学実習Ⅱ		生命薬学実習Ⅲ		卒業研究	
アドバンスト科目【CP4】	薬学データベースへの招待 薬学データベースⅠ		薬学データベースⅡ 診療報酬請求学		薬学情報セキュリティ概論 医療情報管理学		薬学システム細胞生物学 経営管理論		医療経済学		化粧品学Ⅰ 化粧品学Ⅱ	
	海外医療研修		海外医療研修		海外医療研修		海外医療研修		海外医療研修		海外医療研修	
	アントレプレナーシップ概論*		アントレプレナーシップ概論*		アントレプレナーシップ概論*		アントレプレナーシップ概論*		アントレプレナーシップ概論*		アントレプレナーシップ概論*	

\*令和5年度以降開講

## ディプロマポリシー (DP)

【DP1】 全科共通のカリキュラムの履修を通して、薬学専門領域の知識を習得すると同時に、自然や人間・社会を深く理解することができる豊かな教養と倫理を身に付けている。

【DP2】 6年間の「講義」、「演習」や「実習」での学びを通して、高度化・専門化する医療に対応できる論理的思考力と課題解決能力を身に付けている。

【DP3】 人々の健康増進、公衆衛生の向上に貢献するために、薬の専門家として必要な実践的能力を身に付けている。

【DP4】 DP1～3に加え、薬学科においては、臨床医学に関する知識・倫理観を身に付けている。漢方薬学科においては、漢方医学に関する知識・倫理観を身に付けている。